

環境調査結果のお知らせ

令和8年7月14日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害とされる**カレニア・ミキモトイ**が最高で**1,340 cell/mL**、シャットネラ属が最高で2 cells/mL、コクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で4 cells/mL確認されました。**カレニア・ミキモトイ**は漁業被害の発生が強く懸念される警戒基準値（1,000 cells/mL）を上回っていますので、十分注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
A ガラク (3.8m) 【10:49】	0	28.5	32.4	7.7	1	0	0	-
	2	27.6	32.5	7.9	1	1	0	-
	5	26.8	32.9	7.6	0	0	0	-
	10	25.8	33.4	6.9	29	0	0	-
	底層 14	25.5	33.6	6.5	-	-	-	-
B 勢井 (3.9m) 【10:58】	0	28.6	32.3	7.4	0	1	0	-
	2	28.4	32.4	7.1	4	0	0	-
	5	26.0	32.8	6.8	68	0	1	-
	10	25.4	33.3	6.3	1	0	0	-
	底層 16.5	25.1	33.6	6.0	-	-	-	-
C 馬の背 (3.2m) 【11:04】	0	28.0	32.5	7.5	2	0	0	550
	1	27.3	32.5	7.6	5	1	0	-
	2	27.1	32.5	7.8	21	1	0	450
	3	26.5	32.8	7.6	110	0	0	-
	4	26.2	32.8	7.6	560	0	0	-
	5	26.1	33.0	7.2	1,340	1	0	800
	7	25.8	33.2	6.3	250	0	0	-
	10	25.6	33.4	6.1	7	0	0	180
	底層 20	24.9	33.6	5.8	-	-	-	-
D 大室戸 (3.6m) 【10:30】	0	28.5	32.3	7.6	0	0	0	-
	2	28.1	32.4	7.6	0	0	0	-
	5	26.4	33.0	7.6	3	1	0	-
	10	25.8	33.4	6.6	19	0	0	-
	底層 18.5	25.1	33.7	6.7	-	-	-	-
E 白浜 (2.9m) 【10:38】	0	28.7	32.3	7.3	1	0	0	-
	2	27.4	32.7	6.9	0	0	0	-
	5	25.9	33.0	6.8	1	0	0	-
	10	25.6	33.6	6.2	4	0	0	-
	底層 16	25.2	33.7	6.4	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)				
F 湾奥ブイ (3.1m) 【10:18】	0	29.3	32.4	7.7	0	2	0	850
	1	27.5	32.5	7.9	0	0	0	-
	2	27.0	32.5	8.2	0	0	0	1,000
	3	26.7	32.6	8.6	0	1	0	-
	4	26.1	32.7	8.5	0	0	0	-
	5	26.1	32.8	8.1	1	1	4	850
	7	25.6	33.0	6.5	210	1	0	-
	10	25.5	33.4	6.3	10	0	0	120
	底層 15	25.3	33.6	6.1	-	-	-	-
G 大谷漁港内 (4m) 【11:21】	0	28.3	32.2	7.7	1	0	0	-
	2	27.3	32.3	7.8	0	0	0	-
	5	25.7	32.8	7.8	1	0	0	-
	底層 8	25.3	33.1	6.1	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	2～4月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

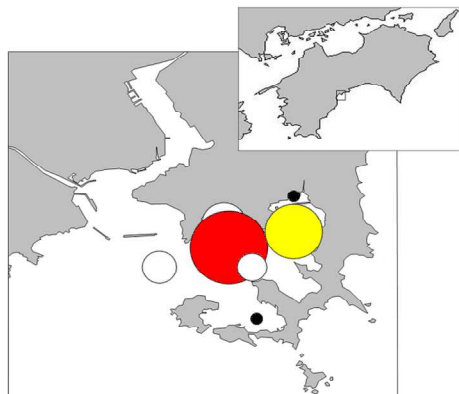
E: 白浜

F: 湾奥ブイ

G: 大谷漁港内

カレニア・ミキモトイ

最大細胞密度



シャットネラ属

最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



珪藻

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0 1~9 10 100 1,000 10,000 100,000 300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

